

# はじめに

「行方市防災ハザードマップ」には、洪水や地震などの災害が発生した際に取りべき行動や、災害が発生する前に取るべき行動、指定緊急避難所一覧など、災害時に役立つ情報を示しています。

また、霞ヶ浦や北浦を対象として、想定し得る最大規模の降雨によって河川がはん濫した場合に想定される浸水範囲と浸水深を示しています。

この洪水ハザードマップによって

- ① 自宅や職場の周辺等、洪水による被害の状況をイメージする
- ② 洪水被害に対する危機意識を持ち、洪水に対する事前の準備をする
- ③ 洪水時には自ら状況を正しく判断し、冷静かつ迅速に避難する

ことが可能になることを目的として作成しました。

近年、洪水被害は頻発しており、かつ被害規模も大きくなっています。

この防災ハザードマップをきっかけとして、ご家族や近隣の方々と災害について考えてみましょう。

注) 実際の洪水では、想定されていない区域が浸水する場合や、実際の浸水深が想定とは異なる場合があります。

## 目次

■ 情報を入手しましょう	2
■ 洪水を知っておこう！	3
■ 地震がおきたら	5
■ 土砂災害の仕組みを知っておこう！	7
■ 洪水ハザードマップの見方	8
■ 浸水想定区域図	9
■ 浸水継続時間	10
■ 浸水想定区域図（詳細版）	11
■ 自助・共助・公助とは？	27
■ みんなで支えよう！	28
■ 災害時は「共助」の姿勢をたいせつに！	29
■ 避難所開設と運営管理	30
■ 避難所・避難場所を確認しましょう	31
■ 要配慮者利用施設	33
■ いざという時に備えて	34
■ わが家のタイムライン(マイタイムライン)	裏表紙

